

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【公表番号】特表2020-511159(P2020-511159A)

【公表日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-015

【出願番号】特願2019-570603(P2019-570603)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 0 7 K	16/24	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/13	
C 0 7 K	16/46	Z N A
C 0 7 K	16/24	
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月6日(2019.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

IL-17A及びIL-17Fの両者に結合し、IL-17A及びIL-17Fの両者の活性を阻害する抗IL17A/F抗体であり、配列番号1で表されるCDR1H、配列番号2で表されるCDR2H、配列番号3で表されるCDR3H、配列番号4で表されるCDR1L、配列番号5で表されるCDR2L、配列番号6で表されるCDR3Lを含む、抗IL17A/F抗体。

【請求項2】

配列番号7で表される可変重鎖ドメイン(VH1-1)並びに配列番号8で表される可変軽鎖ドメイン(VL5)又は配列番号9で表される可変軽鎖ドメイン(VL2-1)を含む、請求項1に記載の抗IL17A/F抗体。

【請求項3】

ヒトIgGクラスに属する、請求項1に記載の抗IL17A/F抗体。

【請求項4】

マウス、キメラ又はヒト化バリアントである、請求項1に記載の抗IL17A/F抗体。

【請求項5】

配列番号10で表される重鎖と配列番号11で表される軽鎖とを含む、請求項1に記載の抗IL17A/F抗体。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項に記載の抗IL17A/F抗体をコードするポリヌクレオチド。

【請求項7】

請求項6に記載のポリヌクレオチドを含む組換え発現ベクター。

【請求項8】

請求項7に記載の組換え発現ベクターを含む、宿主細胞。

【請求項9】

被験体におけるIL-17A及び/又はIL-17F関連疾病を治療するための医薬組成物であって、治療に有効な量の請求項1～5のいずれか一項に記載の抗IL17A/F抗体及び医薬的に許容される賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項10】

前記IL-17A及び/又はIL-17F関連疾病が、自己免疫疾患又は炎症性疾患から選択される、請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記IL-17A及び/又はIL-17F関連疾病が乾癬、乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、関節リウマチ(RA)、多発性硬化症(MS)、全身性エリテマトーデス、変形性関節症又は炎症性腸疾患(IBD)から選択される、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

被験体が哺乳類である、請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記被験体が、ラット、マウス、サル又はヒトから選択される、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項14】

被験体がヒトである、請求項13に記載の医薬組成物。